

日本心理学会若手の会

JPA Early Career Psychologist Network



NEWS LETTER

Vo.2 No.2 2017

CONTENTS

- ・ 第2回若手科学者サミット参加報告
- ・ 日本心理学会第81回大会若手の会企画のお知らせ
- ・ 私のキャリアパス（仲真紀子先生・立命館大学・教授）
- ・ 活躍する若手（福永寛恵さん・熊本大学大学院 博士前期課程）
- ・ 幹事共同代表の交代のお知らせ
- ・ 若手の会の英語表記について
- ・ 編集後記

第2回若手科学者サミット参加報告

6月2日に、乃木坂の日本学術会議にて「第2回若手科学者サミット」（日本学術会議若手アカデミー若手科学者ネットワーク主催）が開催されました。本会は、「総合学会における『若手の会』の役割と心理学の将来」というタイトルで、若手の会としての活動や、所属している会員の研究の内容などについてポスター発表をさせていただきました。同じ心理学として繋がりのある基礎心理学会さんや顔学会さん、また心理学とも馴染みが深い教育や産業衛生といった領域の皆さん、さらには溶接や気象学といった普段は交流のない領域の皆さんも含め、非常に幅広い分野の若手の方たちと話し合うことができました。活動や研究内容のみならず、若手の会の立ち上げや運営方法に関して話す機会も持て、参加者と有益な情報交換ができました。特に、多様な関心領域をもつ会員が所属している、総合学会の若手の会である本会がどのように活動しているのかについて多くの方から関心をお寄せいただきました。またポスター発表

の前には、他学会から選抜された若手研究者の口頭発表の部もあり、領域は違えども面白さが伝わってくる非常に素晴らしい発表ばかりでした。学者の国会とも呼ばれる学術会議の講堂で口頭発表ができる機会はなかなかありませんので、ぜひ次年度は本会からも発表者を出せるといいなと思いました。



（小川 健二・前田 駿太）

**日本心理学会第81回大会
若手の会企画のお知らせ**

<若手のワンショット発表会>

日時：2017年9月20日(水)(大会1日目) 11:20
～13:00

部屋：久留米シティプラザ 2D 展示室3 (予定)

大会初日に自分の演題について、発表とは別に短時間で発表する機会を設けます。自分の演題を広く周知し、たくさんの人に見に来てもらいませんか？各自の持ち時間は1分間。1分間でどれだけ多くの人に興味を持ってもらえるかは、あなたのプレゼンスキルにかかっています！？

対象者：大学院修士課程もしくは博士課程在学中、もしくはその修了時点から10年以内の方

申し込み方法：氏名、所属、会員番号、連絡先(メール・電話番号)、発表演題(発表申込した演題名)を明記の上、jpa-ecp@psych.or.jp までお申し込みください。締め切りは8月20日 23:59です。

<学部生のプレゼンバトル>

日時：2017年9月20日(水)(大会1日目) 11:20
～13:00

部屋：久留米シティプラザ 2D 展示室3 (予定)

上記のワンショット発表会の際に、学部生の発表機会も用意しました！内容は、研究計画や卒論の中間発表など、これから取り組もうとしている、または、すでに取り組んでいる内容(心理学に関係するものであればOKです！)を同じく1分でいかに魅力的にプレゼンテーションできるかを審査します。参加だけではもったいない！と思う学部生の方はぜひ発表してみてください！

申し込み方法：氏名、所属、連絡先(メール・電話番号)、発表予定の内容(概要で結構です)を明記の上、jpa-ecp@psych.or.jp までお申し込みください。締め切りは8月20日 23:59です。

*ワンショット発表会&プレゼンバトル終了後に

は懇談会の機会を設けています。多くの若手と知り合うチャンスですので奮ってご参加ください！

(小川 健二・前田 駿太・鈴木 華子)

<若手の会企画シンポジウム>

日時：2017年9月21日(木)(大会2日目) 9:20
～11:00

部屋：久留米シティプラザ 2C 展示室2 (予定)

対象者：進学に少しでも悩みを持つ学部生・院生

今年の日本心理学会第81回大会における若手の会企画の第2弾として、「キャリアパスの第一歩—大学院の選び方—」というテーマでシンポジウムを開催します。様々な領域で活躍する院生の大学院選択と学生生活の紹介を通じて、若手のキャリア形成の第一歩である大学院進学のある方をフロアの参加者と一緒に考えます。質疑応答の時間も設け、シンポジウム終了後は、進路相談会にて個別相談にも対応します。学部生で修士課程への進学を迷っている、あるいは修士学生で博士課程への進学を悩んでいるみなさん！ぜひご参加ください。

<進路相談会>

日時：2017年9月21日(木)(大会2日目) 11:20
～13:00

部屋：久留米シティプラザ 2C 展示室2 (予定)

対象者：進学に少しでも悩みを持つ学部生・院生

今年の日本心理学会第81回大会における若手の会企画の第3弾として、学生を対象とした進路相談会を企画しています。心理学に魅力を感じて大学院進学を考えてはいるものの、「大学院に進学するとどんな生活になるのだろうか?」、「就職に困らないだろうか?」、「バイトをしながらやっていたのか?」、「他の人はどうしているのだろうか?」などなど、様々な不安や悩みを抱えているあなた。一足先に研究者生活を送っている若手研究者が、そんな悩みを解決!(するための助言を)します。どんな悩みでも構いません。また、すでに進学し

ている方ももちろん歓迎いたします。一緒に悩んでしまうかも知れませんが、少しでもお役に立てれば幸いです。未来の心理学界を引っ張るのは、あなたかもしれません。

(三浦 佳代子・川越 敏和)

「私のキャリアパス」

第3回 仲 真紀子先生



仲 真紀子先生
(立命館大学・教授)

【ご略歴】

- 1984 / 3 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科単位取得退学
- 1984 / 4 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科 助手
- 1987 / 4 千葉大学教育学部 講師
(1987 / 12 学術博士 (お茶の水女子大学))
- 1989 / 1 千葉大学教育学部 助教授
(1990 / 1~10 Duke 大学 客員教授)
- 1999 / 10 東京都立大学人文学部 助教授
- 2003 / 10 北海道大学大学院文学研究科 教授
- 2017 / 4 立命館大学 教授

【私のキャリアパス】

あらためて履歴を眺めてみると、職について33年。学生時代もいれると42年間、心理学と付き合いってきたのだと思います。つくづく少年老い易く学成り難し。何もわからないままもうこの年か、となさげくなりますが、できることしかできない、できないことはできないと思い直し、私のキャリアについて書きます。

大学院の頃はもとより、助手の頃も心理の職につくということ、私はあまり思い描いてはなかったと思います。学部のあるころ、一瞬、公務員試験を考えたのですが、それに向けて頑張っている友人を見ると、とても自分には無理。バイトも部活も挫折したけれど、データを集めて分析することは面白く、修士課程に進みました。卒業した友人は社会に出て仕事をしているのにと、申し訳ない気持ちが強かったのですが、博士課程に進んだときには「自分は豆研究者」と勝手に思うことにしました。修士2年のときに結婚しましたが、旦那が筑波大の学生であったため、寮の自宅を実験室に仕立て、参加者を招き入れて実験などをしていました。怪しい人でしたね(笑)。

そういう生活を3年間送りましたが、当時は学位論文を書く人もおらず、私も学位をとらないまま助手になりました。助手になった年の秋、双子を出産。最初は実家で子育てをとったのですが、大学まで1時間半くらい通勤にかかります。結局歩いて通えるマンションを借りて、産休明けから3月まではベビーシッター協会にお世話になりました。その間何度も区役所に出向き、4月に保育所に入れていただいたときはとても嬉しかったです。子育ては職住保育所接近が本当に重要です。子育てと勤務で新しいデータをとることは難しく、しばらく後ろ向きの(回顧的)仕事をしようと思われ、博士論文を書きました。

助手時代あまり就職のことを気にしていませんでした。けれども先輩が公募に出したという話を聞き、私も出してみようか、と。3件出して駄目だったのですが、千葉大で拾っていただきました。千葉大は、前年も公募がありました。そのときは書類審査でだめだったのですが、2度目で採用していただきました。そういえば北大も2度目でした。一度目にお声をかけていただいたときは心の準備ができておらず、数年後に移りました。1度目がだめだったからここはきっと駄目、と思わず、ぜひ2度3度とチャレンジしてみてください。

あとの経験から言えることですが、最初の公募で惜しくも不採用だった方が次の公募で採用される、ということはよくあるものです。

千葉大学、東京都立大学（現首都大学東京）、北海道大学、そして立命館大学へと。それぞれ素晴らしい環境を与えていただきながら、なぜもっていかなかったのかと言われると自分でもよくわかりません。多動というか、新しいところも見てみたい、という気持ちでしょうか。毎回嫁ぐような気持ちで移り、それぞれの場で優れた研究者の方々と同僚となれたこと、今もつながっていただけることは宝物です。

場所の異動が研究を変えるのか、研究の変化が場所の異動につながるのか、テーマはずっと記憶やコミュニケーションの発達ですが、お茶大では間接的言語行為、千葉大では書記行為と記憶、Duke大での在外研究から戻った後は目撃証言研究にのめりこみました。そして都立大では自伝的記憶、北大では司法面接。今も司法面接から離れられません。ライフの中の重要ごと、大学からの要請、同僚や学生さんや学会や訪問で知り合った内外の研究者・実務家などからの刺激によって、研究のテーマや方向性が決まってくるのかな、と思います。面白いことばかりを追いかけて来てしまい、最近ふと気がつく、周りは法学者や司法・福祉の実務家ばかりということもしばしば。遠くまで来ちゃったな、と思うこともあります。

今更ながらですが、研究と職業は同じではないわけで、好きな仕事も気の進まない仕事もあり、そのなかにとっても楽しく研究できる時間が少しだけある。このオアシスを目指して砂漠のような仕事（とっては仕事に失礼ですが）をがんばるのが職業かな、と思ったりします。とりとめがなくなってしまうましたが、とにもかくにも職についてみてください。大学の教員という定型でなくとも、どんな職業でも！そこできっと研究につながる面白い出会いがあると思います。もしもお金がいっぱいあって、誰にも何も言われずに個人で

思いっきり研究ができたならば、それも一つの理想かもしれません。でも、それでは少しつまらないかなと思います。

「活躍する若手！」第3回 福永さん（熊本大学大学院）



福永 寛恵さん
（熊本大学大学院・博士
前期課程）

私は、看護師として7年間、急性期の病院へ就職しました。その後、2015年より熊本保健科学大学へ着任し、現在は主に病院での看護実習を担当しています。また、臨床で感じていた疑問を解決したいと思い、熊本大学大学院博士前期課程へ進学し、“術前不安とせん妄”に関する研究に取り組んでいます。そして、このように、二足の草鞋を履きながら、昨年娘を出産し、三足目の草鞋を履きながら(?)過ごしています。

ここまで聞くと、到底、生活が成り立たないように感じる方もおられるかもしれませんが、幸いにも、「チーム福永」として、夫、両親、義理の両親達の協力体制が取れており、娘が生まれてからは、みんなでお世話を分担しながら育てています。そのためか、娘はどこに預けても楽しそうに過ごしていて、両親や義理の両親も、生きがいを見つけたと喜んでくれています。周囲の理解とサポートがなければ、きっと、今の生活は成り立たないと思いますので、娘へも周囲へも感謝の気持ちでいっぱいです。

約1か月後には職場復帰を控え、若干ナイーブになってはいますが、仲間たちと将来の仕事や研究活動の話をする、ワクワクしてしまうのも事

実です。仕事や育児と、やりたい事をやれているという実感もありますので、焦らず、ゆっくり、着実に、今後の生活も楽しんでいけたらいいなと思っています。

幹事共同代表の交代のお知らせ

この度、私（小川）が若手の会の会員規定の枠（学位取得後10年以内）を超えたことにもない、幹事会の共同代表を交代することになりました。もう若手でなくなったことに多少の寂しさを感じつつ。共同代表の鈴木さんをはじめ幹事の皆さんには迷惑をかけっぱなしでしたが、会の立ち上げからここまでの歩みを振り返ると感慨深いものがあります。会の発足から5年ほど立ちますが、この時期に世代交代を図ることによって、今後も長く続いていく若手の会になることと思います。

新しい共同代表は前田駿太さんです。まだ博士課程の学生さんですが、既に過去2年にわたり幹事会のメンバーとして若手の会の活動を大いに支えてくれており、大変心強いです。若返った新しい体制で、さらなる会の発展に（ミドル世代から）期待したいと思いますので、宜しくお願い致します。

（小川 健二）

若手の会の英語表記について

若手の会の英語表記が「Early Career Psychologist Network」に変わりました。若手同士の交流の機会を通してネットワークが広がるようにとの思いから、こちらの名前に変更されました。今後とも若手の会をよろしくお願い致します！

（鈴木 華子）

編集後記

暑い日が続きますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。今号では、若手科学者サミット参加報告と日本心理学会第81回大会（久留米大会）若手の会企画のお知らせがありました。久留米大会の頃には、この暑さも少しは和らいでいることと思います。久留米大会の若手の会企画は、参加費学部生無料に合わせた企画が盛りだくさんです。未来の心理学界をつくるのは若手をおいて他にありません！ぜひ皆さん、大会に参加してお互いに刺激しあいましょう！！

（高瀬 堅吉）



9/20-22 久留米シティプラザで開催される日本心理学会第81回大会で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

発行：若手の会幹事会

〒113-0033 東京都文京区本郷

5-23-13 田村ビル内

公益社団法人日本心理学会事務局

ipa-ecp@psych.or.jp

2017年 7月 20日発行

編集：若手の会幹事会

